



報道発表

2020年8月18日

株式会社 FLOSFIA への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 FLOSFIA（以下「FLOSFIA」）（本社：京都市西京区、代表取締役社長：人羅俊実）に対する投資を実行しました。

○今回の投資の概要

FLOSFIA は、真空装置を使わない画期的な製造方法 MIST EPITAXY®法によって α 型酸化ガリウムを用いたパワー半導体を開発・製造する京都大学発ベンチャーです。 α 型酸化ガリウムは京都大学藤田静雄教授により見出された、電力変換損失を大幅に削減しつつ電力変換回路全体のコストを大きく低減する優れた物性を有するパワー半導体材料です。FLOSFIA は、世界に先駆けて α 型酸化ガリウムパワー半導体の研究開発に取り組み、製品の量産販売目前という状況に至っています。

省エネへ取り組む世界的な動きの中で、 α 型酸化ガリウムパワー半導体は産業、自動車・電装、新エネルギー等の分野での省エネに大きく貢献することが期待されています。京都 iCAP は、昨今の不透明な社会情勢化において着実な α 型酸化ガリウムパワー半導体の供給を支援すべく、FLOSFIA の第三者割当増資に、三菱重工業株式会社ともに応じ、3 億円の投資を実施しました。FLOSFIA へは、2017 年に実施した 1 億円の投資に続き、2 回目の投資になります。

株式会社 FLOSFIA 概要

設立	2011年3月31日
事業内容	MIST EPITAXY®法による α 型酸化ガリウムパワー半導体の開発・製造
本社所在地	京都市西京区
代表取締役	人羅 俊実

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016 年 1 月には京都大学と民間企業からの出資を受け、京都 iCAP を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設



定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp